

ハイキング部だより



第213回

令和3年(2021年)11月6日(土)～長岡京の社寺巡り

コース:長岡天神駅～長岡天満宮～寂照院～竹林～西山公園～光明寺～
乙訓寺～西向日駅(約8キロ)

参加者 14名

第213回ハイキングを11月7日(日)の予報が雨のため1日繰りあげて6日(土)に変更して実施しました。天候 晴、参加者14名。今回は体調を崩されて一時休まれていた土生さんが、すっかり回復されて久しぶりに参加され元気よく歩かれました。

10時過ぎ阪急「長岡天神駅」をスタート、まず菅原道真が祀られ学問の神さんとして有名な長岡天満宮へ、大きな鳥居をくぐり八条が池を渡り本殿にお参り、長岡天満宮は道真が大宰府に左遷されたとき名残を惜しんで木像を彫り、それをご神体として祀ったのが始まりと伝えられています。天満宮のあと境内を横切り国道に出て寂照院へ、孟宗竹の発祥地という石碑が建っていました。寂照院を出てからすぐのところの竹林が続く道をしばらく歩き、西山公園体育館を過ぎ長法寺を横に見て12時少し前に西山公園に到着、ここで昼食。トイレをすませて光明寺に向かいました。

光明寺は法然上人が最初に「南無阿弥陀仏」の念仏を上げた地と言われています。本堂まで長く続く参道に絨毯が敷かれたような様子を「もみじ参道」と言われていますが、今回は少し時期が早かったようです。平家物語で知られる連生法師(熊谷次郎直実)が建てた「念仏三昧院」が光明寺の発祥と伝えられています。源平合戦の一の谷の戦いで直実は自分の息子と同じ年頃の平敦盛を討ち取ってしまったことに武士の無常を感じ武士を捨て極楽浄土を求めて法然上人を訪ね仏門に入ったと伝わります。そのあと乙訓寺へ、ここは牡丹寺として有名です。樹齢300年とも言われるモチの大木がありました。この後は「西向日駅」に向かつて歩き、3時前に京都に向かう人と大阪方面に向かう人に分かれて解散しました。





光明寺に於いて



長岡天満宮



長岡天満宮



長岡天満宮



寂照院(じゃくしょういん)



寂照院 仁王門



走田(はしりだ)神社



竹林「竹の小道」



西山公園へ



西山公園



乙訓寺に於いて



西山公園ジャブジャブ池



光明寺総門



光明寺参道



光明寺参道



光明寺御影堂



光明寺御影堂



乙訓寺(ぼたん寺)



乙訓寺鐘楼



乙訓寺裏門

第213回ハイキングは下記の計画で実施しました

～ 長岡京の社寺巡り ～

日時:令和3年11月6日(土) 10時 阪急「長岡天神駅」集合

コース:長岡天神駅～長岡天満宮～寂照院～竹林～長法寺～光明寺～
乙訓寺～西向日駅(約8キロ)

寂照院付近には乙訓竹と呼ばれる竹林がありますが、乙訓竹は禅僧・道元が中国から孟宗竹の原種を持ち帰ったことがはじめとされています。長法寺から光明寺をめぐり乙訓寺へ、乙訓寺は推古天皇のころ開基され十一面観音が安置されています。光明寺は紅葉の名所でもあります。このコースは第20回「平成17年(2005年)4月24日」に一度歩いています。

